

2018年 11月号

No.369

教務所 たより

発行者

小松教務所

〒923-0904 小松市小馬出町26番地

Tel 0761-22-0555

Fax 0761-22-0529

2018年11月1日発行

今月の掲示伝道

無明長夜の灯炬なり

とうこ

智眼くらしとかなしむな

生死大海の船筏なり

せんばつ

罪障おもしろとなげかざれ

親鸞聖人

今月の教化事業

下記のとおり実施いたしますので、皆様お誘い合わせのうえ、是非お参りください。

● 日曜講座（午前9時30分から勤行、11時30分終了予定）

< 2018年 11月 >

期 日	講師名	備 考
11月4日	江尻 芳生	小松教区駐在教導
11日	休講 (翌日の十二日講にお参りください。)	
18日	前川 賢真 氏	金福寺 (小松市佐美町)
25日	休講 (本山報恩講のため)	

< 2018年 12月 >

期 日	講師名	備 考
12月2日	日野 賢之 氏	西照寺 (小松市大川町)
9日	柿原 秀芳 氏	寶海寺 (能美市三ツ屋町)
16日	休講 (同日の同朋の会報恩講にお参りください。)	
23日	塚谷 真樹 氏	燈明寺 (小松市向本折町)
30日	休講	

●十二日講

- ◇ 日 時 11月12日(月)
午前9時30分から11時30分まで
- ◇ 会 場 常磐会館(小松教務所)
- ◇ 講 師 五辻 信行氏(福井教務所長)
- ◇ 講 題 「現代の闇を親鸞聖人と共に歩む」
- ◇ 主 催 十二日講門徒会

12月の十二日講
田中 昭親 氏 (小松教区 浄昭寺)

●真宗本廟御正忌報恩講団体参拝

- ◇ 期 日 11月25日(日)
- ◇ 行 き 先 真宗本廟(東本願寺)
- ◇ 募集人数 80名
- ◇ 参加費 大人 8,000円、15歳未満の方 4,000円



※申込書に必要事項をご記入の上、参加費を添えて
11月9日(金)までに教務所へお申し込みください。

≪10/29 現在の申込者数≫
21名

- | | | |
|-------|--------------------|-----------------|
| ◇ 日 程 | 5:30 教務所出発 | 14:00 親鸞聖人御旧跡参拝 |
| | 9:15 真宗本廟到着 | ※「六角堂」参拝 |
| | 9:30 御正忌報恩講「中日中」参拝 | 15:30 京都出発 |
| | 12:30 真宗本廟内にて「お斎」 | 19:00 小松教務所到着 |

- ◇ 主 催 教化委員会 門徒教化部門

●寺族研修会を開催しました。

期日：2018年9月25日(火)18:00～21:00

会場：常磐会館(小松教務所)

参加者：15名

9月25日「小松教区のお講の歴史」「相続講の実務について」をテーマに寺族研修会を開催しました。講師の太田浩史先生(高岡教区大福寺住職)は、能美四講から始まる小松のお講、郡中御影報恩講の歴史を四方僧伽(サンガ)として仏教本来の姿であると話されました。また、源主計からは重世話研修会等で聞かれる相続講本山世話方の厳しい提言、意見等を含め、教区内の相続講についての実情を聞かせていただきました。【報告：寺族教化部門幹事 柿原 勸(三ツ屋町・寶海寺)】



研修の様子



講師：太田 浩史 氏

●常磐会館報恩講を勤修しました。

10月1日(月)、常磐会館(小松教務所)を会場に常磐会館報恩講を厳修しました。

法要は、約100名がお参りして勤められ、午前・午後で延べ43名の教区内僧侶が出仕しました。午前・午後とも法要の後には、安原晃氏(元真宗大谷派宗務総長・三条教区第12組安浄寺住職)を講師として「弥陀の呼び声にさまされて生きる」の講題で法話がありました。

安原氏は、「親鸞聖人は悲歎述懐のご和讃を通して、人間というのは慙愧が起こらなければならなにご自身を通して伝えている。私も日々、身勝手に生きているが、お念仏を通して、弥陀の呼び声に、そのような私の姿を知らされ目覚めさせられて「人々と共に歩む」生き方を頂いている」と語られました。

9月21日(金)には、常磐会館報恩講の準備として、組門徒会の皆様にご協力をいただき仏具の「おみがき」を行いました。また当日の受付・接待等に加勢いただいた組門徒会・坊守会・同朋の会の皆様を始め、多くの方々のご協力をいただき、共に報恩講をお勤めすることが出来ました。

*9月30日(日)の御伝鈔拝読は台風の為、中止とさせて頂きました。

【報告：小松教区駐在教導 江尻 芳生】



講師：安原 晃 氏



多くの聴聞がありました。

●御仏供米進納上山を実施しました。

10月6日に御正忌報恩講の御仏供米として「いのプロ米」を進納してきました。
到着後、阿弥陀堂にて執り行われた採納式の際には、但馬宗務総長から子どもたちが田植えをし、刈り取ってくれたお米を届けてくれたことに対し、「本当に嬉しく有難いこと」と感謝の言葉をいただきました。

また、採納式後には本廟部の参衆さんに、どのように御仏供が作られているのかを御仏供所でご説明いただきました。御正忌の「初中結」には3升ものご飯が盛られる大きな仏飯器には参加者も驚いていました。
台風25号の影響が懸念されましたが15人のお子さんを含め、総勢27名のご参加を頂きました。今回の御仏供米進納を縁としてお一人でも多くの方に「いのちを育むプロジェクト」に参加いただけると幸いです

【報告：青少幼年教化部門幹事 加藤 雅輝（中町・遠慶寺）】



採納式の様子



集合写真（御影堂）

教務所 からのお知らせ

● 北海道胆振東部地震について

このたび、9月6日に発生した北海道胆振東部地震について、小松教区から北海道教区に対し、災害救援金をお届けしましたので、お知らせします。

救援金額 200,000円

● 東本願寺出版 新刊書のお知らせ



「心に響く法話シリーズ」第6作目、今作は元大谷大学非常勤講師の松井憲一氏によるご法話です。私たちは普段、「凡夫」という言葉をよく使いますが、たいてい自分の都合に合わせて自己肯定や言い訳に使っているばかりで、実はよくわかっていないのではないのでしょうか。松井氏は、この「凡夫」という言葉について、あらためてお釈迦様や親鸞聖人の教えにたずね確認しつつ、四コマ漫画・川柳・経験談を織り交ぜたユーモアたっぷりの語り口で、巧みに私たちの本質へと迫ります。

お詫びと訂正

『教務所たより』10月号の4頁に下記のとおり誤植がありました。
ここに訂正してお詫び申し上げます。申し訳ございません。

1 誤植	4 頁	教務所からのお知らせ欄
誤	結婚念珠について	正 誕生児念珠について

<小松教務所 事務休止のお知らせ>

下記のとおり事務休止といたします。ご不便をお掛けしますが、ご理解の程お願い申し上げます。

期 日 2018年11月14日（水）午後

【教務所員対象寺族活性化支援室説明会のため】

【緊急連絡先】主 計（090-9440-3015）

※ 電話が繋がらない時は、必ずメッセージを入れてください。